MASPRO

屋内用 ブースター

取扱説明書

VU BOOSTER
増幅チャンネル FM・ch1～62

VUA46S

UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch13～62
FM・VHF（76～222MHz）ミキサー内蔵

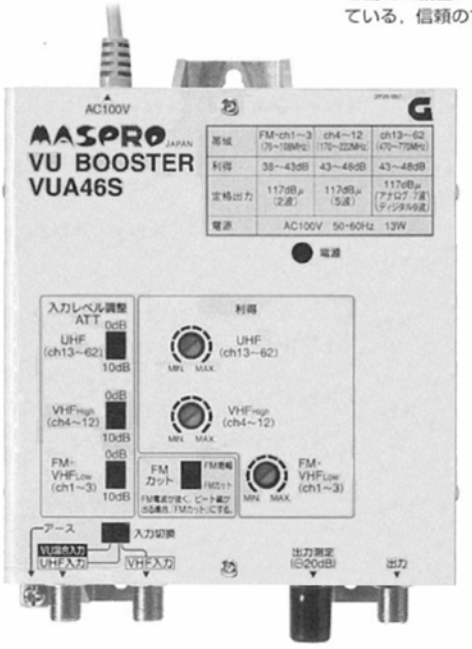
UA46S

AC100V方式

地上ディジタル放送推奨品

DIGITAL ディジタル放送対応

このマークは各種のディジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。



VUA46S

46dB 型

アパート・マンションなどの共同受信に使用する高利得・高出力ブースターです。

VUA46S
FM・VHF・UHF 帯域を増幅します。

UA46S
UHF 帯域を増幅します。
FM・VHF 帯域は通過します。

MASter of PROduction 生産の匠者

高性能・高信頼

地上ディジタル放送に対応した高出力

高性能パワーICと最新の回路技術により，UHFの定格出力レベルは，117dBμ（アナログ7波⊕ディジタル9波伝送）と高出力ですから，地上ディジタル放送とアナログ放送の多チャンネルサイマル受信にも対応できます。また，VHFも117dBμと高出力ですから，強電界地域でも安心して使用できます。

高利得・小型 設計

46dBの高利得で，高さ175mm，幅134mm，奥行き66mmと小型ですから，取付場所を選びません。

携帯電話信号除去フィルター内蔵

UHF増幅部に，携帯電話による受信妨害を強力に除去するフィルターを内蔵しています。

優れたシールド性能

高周波部分を金属ケースでシールドしていますから，外来電波による妨害を防ぐことができます。

ヘッドライン両用

入力切換スイッチによって，VUの入力を混合入力（ライン用）と別入力（ヘッド用）に切換えられますから，ヘッドまたはライン用のどちらでも使用できます。

帯域別の入力レベル調整ATTを装備

入力レベル調整が簡単にできます。
（**UA46S**は，UHFの帯域で調整できます）

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

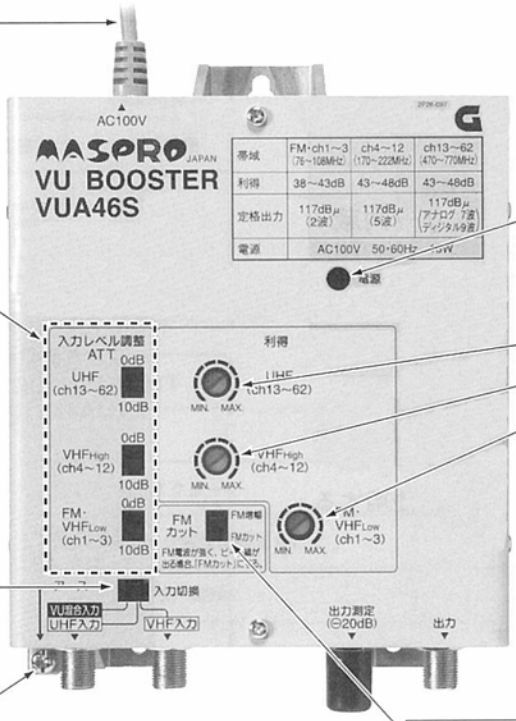
各部の名称と機能 VUA46S

ご注意

- ●利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- ●各スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

ACコード（約0.9m）

コードを延長するために，途中で切断して別のコードにつなぐことは電気設備技術基準で禁じられています。



電源表示灯

入力レベル調整ATT（0,10dB切換）

各帯域の入力レベルが高い場合，使用してください。

（**UA46S**に，FM・VHFLow，VHFHighは，ありません。）

利得調整

UHF（ch13～62）

VHFHigh（ch4～12）

FM・VHFLow（ch1～3）

出力レベルを0～⊖10dB連続して調整できます。

（**UA46S**に，FM・VHFLow，VHFHighは，ありません。）

入力切換

V・Uの入力を混合入力と別入力に切換えられます。

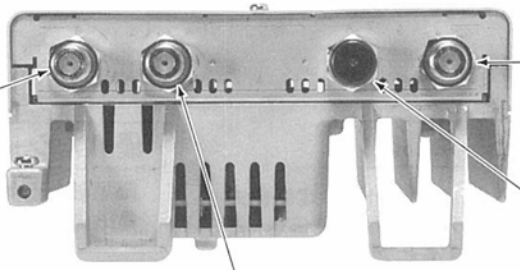
p.3「入力切換の操作方法」をご覧ください。

アース

FMカット

FMの電波が強く，TVのch1～3に妨害が出るとき，「FMカット」側にすると防止できます。

（**UA46S**にFMカットスイッチは，ありません。）



VU混合入力端子
UHF入力端子

- ●V・U別入力のときのUHF入力端子です。
- ●VU混合入力のときのFM・VHF・UHF入力端子です。
- ●使用しないときは，付属のキャップを取付けてください。

VHF入力端子

- ●V・U別入力のときのVHF入力端子です。
- ●使用しないときは，付属のキャップを取付けてください。

出荷時の設定

出荷時に，各スイッチ・調整ツマミは，以下のように設定してあります。

●VHF

名称	設定
入力レベル調整ATT	10dB
利得調整	MIN.
FMカット	FM増幅

●UHF

名称	設定
入力レベル調整ATT	10dB
利得調整	MIN.

●その他

名称	設定
入力切換	V・U別入力

入力レベルの設定について

入力レベルは，必ず，実用入力レベルの範囲内になるように設定してください。実用入力レベルを超えた状態で作動させておくと故障の原因となります。使用する前に確認してください。

入力レベルの確認方法

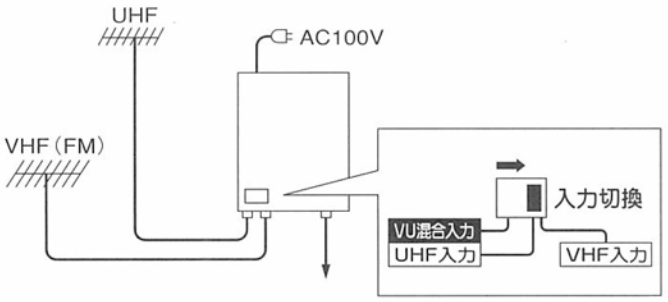
アンテナまたはミキサーからのケーブルをレベルチェッカーまたは，スペクトラムアナライザーに接続して，各帯域ごとの入力レベルをチェックしてください。

●入力レベルが実用入力レベル(p.6規格表※2：利得調整は最小時，入力レベル調整ATT10dB挿入時の最大入力レベル)の範囲内になっているか確認してください。

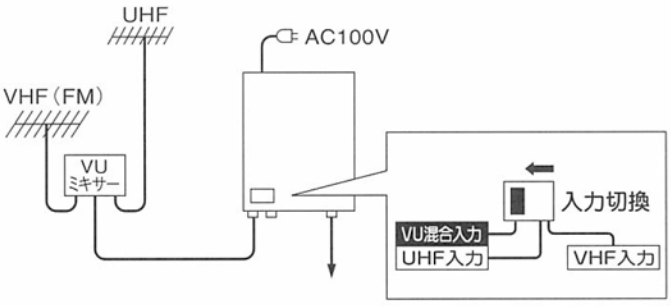
●実用入力レベルを超えているときは，別売のアッテネーター**ATT1.5，3，6，10，15，20**を使用して，実用入力レベルの範囲内になるようにしてください。

入力切換の操作方法

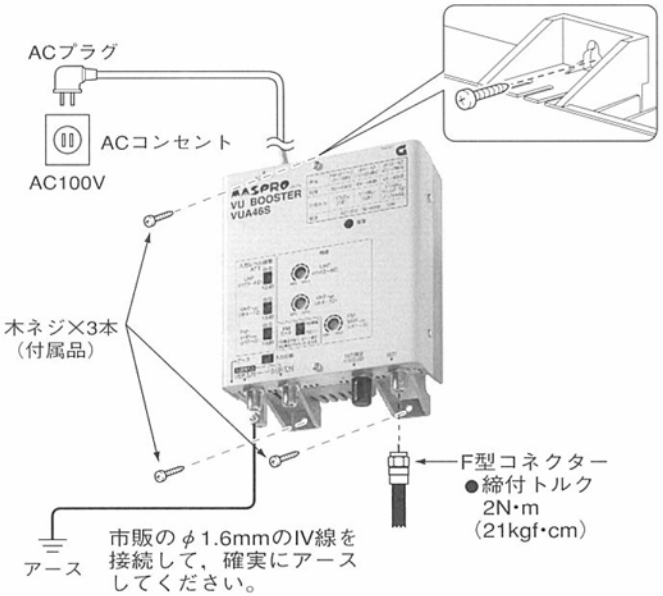
VHF(FM)・UHF別入力の場合



VHF(FM)・UHF混合の場合



取付方法 (機器収容ボックスに取付けてください)



機器収容ボックス内にACコンセントを用意してください。

ご注意

●ブースターは，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。内部温度が上昇して故障の原因となることがあります。

●本器は，屋内用ですから，雨など水のかかる場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。

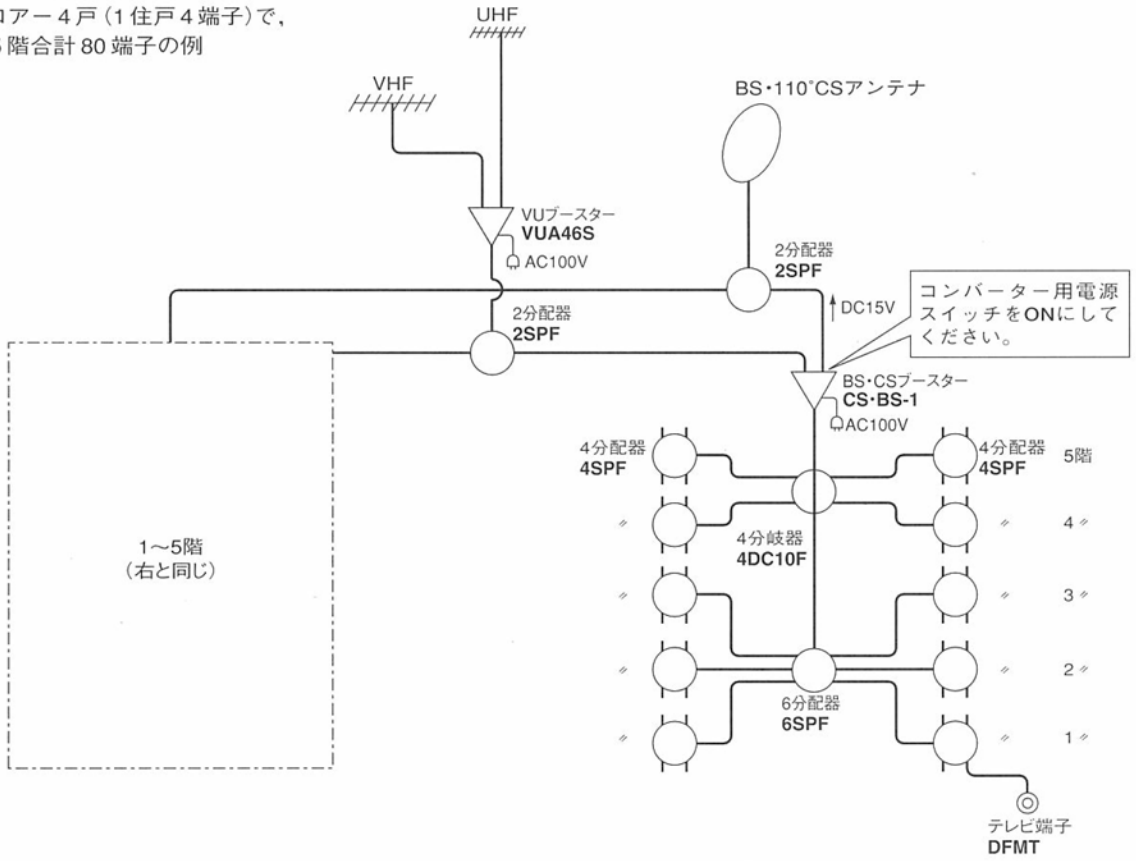
●ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。

●機器収容ボックスは，内部温度が本器の使用温度範囲内になるような場所に取付けてください。
使用温度範囲を超えてのご使用は故障の原因となります。

使用例

80端子の場合

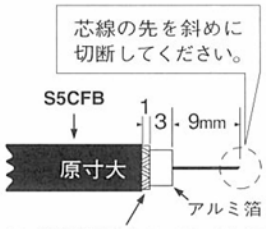
1フロアー4戸（1住戸4端子）で，
1～5階合計80端子の例



F型コネクター（FP5）の取付方法

接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工

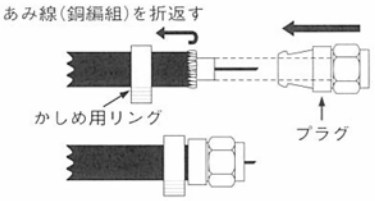


あみ線（銅編組）をニッパー（またはハサミ）で，1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。

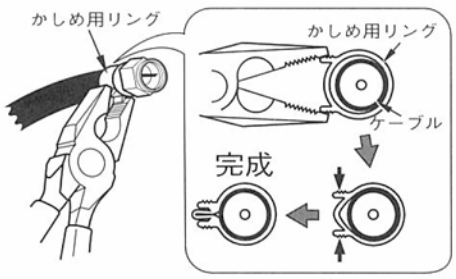
③プラグの取付

1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

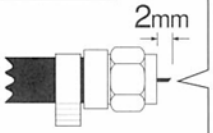


④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は，まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして，機器が故障します。

正しく使用していただくために

画像が出ない場合，または，よい画像が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合

1. 電源

規定の電源（AC100V）が正しく供給されていますか。

●電源電圧を確認してください。

2. 入･出力端子とケーブルの接続

入･出力ケーブルは，それぞれの端子に正しく接続してありますか。

●各端子とケーブルの接続を確認してください。

3. ケーブルの点検

断線またはショートしていませんか。

●ケーブルやコネクターの接続部分を確認してください。

4. 入力切換スイッチ

正しく操作してありますか。

（p.3「入力切換の操作方法」をご覧ください。）

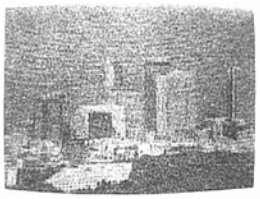
画像にスノーノイズが目立つ場合

利得調整が最小（㊧へいっぱいに回した状態）になっていませんか。

●症状が消えるまで，利得調整を㊨へ回してください。

ブースターの入力レベルが不足しています。

●アンテナを高利得のものに交換するか，設置場所を変えて，受信レベルを上げてください。



スノーノイズ

画像にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1. 他の電波と混信していないかを確認してください。

ブースターの入力レベルが不足しています。

●各アンテナの方向を変えて，画質が最もよくなるように調整してください。

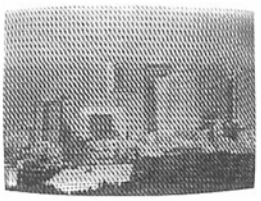
2. ch1～3の画面に妨害が出るとき。

●FMカットを「FMカット」側へ切換えてください。

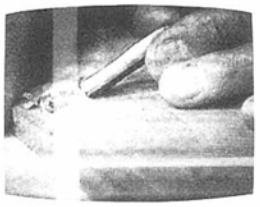
3. 各入力端子のレベルが，実用入力レベル以上になっている。

●外付けのアッテネーターを使用してください。

（p.3「入力レベルの設定について」をご覧ください）



ビート縞



ワイパー現象

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店･営業所または本社技術相談までお問合わせください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振して，
ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

①入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
②入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	VUA46S			UA46S	
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～108MHz (FM・ch1～3)	170～222MHz (ch4～12)	470～770MHz (ch13～62)	76～222MHz (FM・ch1～12)	470～770MHz (ch13～62)
利得 Gain	38～43dB	43～48dB	43～48dB	———	43～48dB
通過帯域損失 Insertion Loss	———			1.5dB以下	———
利得偏差 (P/V) Gain Response Flatness	4dB以内				4dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上 (連続可変)	0～⊖10dB以上 (連続可変)	0～⊖10dB以上 (連続可変)		0～⊖10dB以上 (連続可変)
入力レベル調整ATT Input Level Control Attenuator	0、10dB切換	0、10dB切換	0、10dB切換		0、10dB切換
実用入力レベル Operating Input Level	43.5～74dBμ (84dBμ) ※1 (94dBμ) ※2	43.5～69dBμ (79dBμ) ※1 (89dBμ) ※2	45～69dBμ (79dBμ) ※1 (89dBμ) ※2	———	45～69dBμ (79dBμ) ※1 (89dBμ) ※2
定格出力レベル Rated Output Level	117dBμ (2波)	117dBμ (5波)	117dBμ アナログ 7波 ディジタル 9波※3		117dBμ アナログ 7波 ディジタル 9波※3
混変調／相互変調 Cross Modulation／Intermodulation	⊖46dB以下／⊖55dB以下		⊖46dB以下／ —		⊖46dB以下／ —
雑音指数 Noise Figure	4.5dB以下	4.5dB以下	6dB以下		6dB以下
VSWR	2以下			2以下	
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω (F型コネクター)				
耐雷性 Surge Protection Voltage	15kV (1.2/50μs) のサージ電圧に耐えること				
電源 Power Requirements	AC100V 50・60Hz				
消費電力 Power Consumption	13W			12W	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖10～⊕40℃				
外観寸法 Dimensions	175 (H)× 134 (W)× 66 (D)mm				
質量 (重量) Weight	約 1 kg				
シンボル Symbol	▷				

※1 利得調整を最小にしたときの最大の実用入力レベル。
※2 利得調整を最小にして、各入力レベル調整ATTを「10dB」へ操作したときの最大の実用入力レベル。
※3 ⊖10dB運用

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

木ネジ …… 3本
F型コネクター(5Cケーブル用)…… 3個
キャップ …… 1個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの ＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
技術相談 〃 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
福岡(支)(092)531-3861
北九州 (093)941-4026
下関 (0832)55-1130
徳山 (0834)32-2954
広島 (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
姫路 (0792)34-6669
神戸 (078)843-3200
大阪(支)(06)6635-2222
工事営業部(06)6632-1144
京都 (075)646-3800
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
名古屋(支)(052)802-2233
工事営業部(052)804-6262
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
渋谷(支)(03)3409-5505
工事営業部(03)3499-5631
秋葉原 (03)3255-7335
青戸 (03)3695-1811
八王子 (0426)37-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)660-5008
郡山 (024)952-0095
仙台 (022)786-5060
盛岡 (019)641-1681
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
函館 (0138)53-7355
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
北見 (0157)61-0480

FEB., 2003

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-498
N-32-4498-1L